

すわみつえ通信

No.315 2024年5月20日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

市議団 議会報告会＆市政懇談会

市民の皆さんから切実な声が寄せられました



日本共産党鴻巣市議団は5月15日(水)午前中、中央公民館で議会報告と市政懇談を行いました。20数名が参加してください、日頃感じておられる「鴻巣駅東口エレベーターの早期設置を求める」「コミュニティバスフラワー号の土曜日減便で通学通勤が大変困難に直面している」「自治会の問題」「危険な踏切の実態」など、切実な声をお寄せいただきました。

竹田えつ子・すわみつえ市議で皆さんのが声を届けて改善のため力をつくします。

議員による一般質問時間75分に戻らず

5月28日告示となる6月定例会に向けて議会運営委員会が開催されました。コロナ感染症が5類に分類され1年が経過しました。感染対策に留意しながらも、元の議会運営に戻す方向を議論しました。一般質問の時間は75分を60分に短縮して運営してきましたが、時間内で行うためには、質問項目などを制限せざるを得ませんでした。市民の皆さんのが声を届けるために75分必要だと発言しましたが、「60分でも余るから現行でよい」などの意見との調整がつかず、最終的に採決となりました。残念ながら75分に戻すことになりました。

▶「資本論」講座大盛況◀

資本論講座が始まりました。第一回は5月14日(火)に吹上生涯学習センターで行われ、30名を超える方の受講で会場は熱気であふれました。

前畠雪彦・桜美林大学名誉教授のスーパー・マーケット2店舗の広告チラシを使っての「商品」「価値」の講義は分かりやすく引き込まれました。これからが楽しみです。

埼玉土建第21回定期大会 元気に開催される



日本共産党を代表して挨拶する秋山もえ衆院6区予定候補

5月19日(日)に開催された埼玉土建中部支部定期大会に来賓として参加しました。

日本共産党中部議員団は建設産業に働く皆さんの仕事と暮らしを守る闘いに連帯し、大幅賃上げ・憲法を守る運動をともに頑張る決意を表明しました。

惜春や天衣無縫のマエストロ
※小澤征爾さんを偲んで
ゆ美子

〔俳句コーナー〕

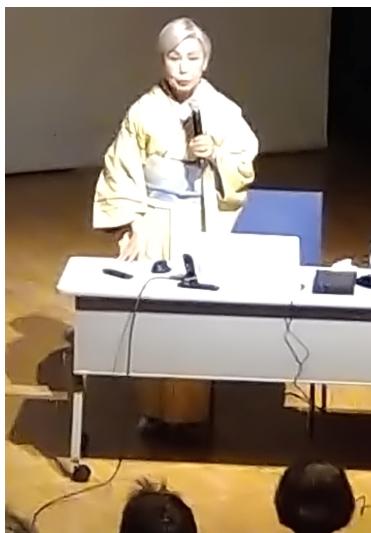
毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

第72回「利根川水系連合・総合水防演習」 県外視察研修で水防学ぶ

荒川北縁水防事務組合(熊谷市・行田市・鴻巣市で構成)は5月18日(土)に、千葉県香取市で開催された「第72回利根川水系連合・総合水防演習」を見学し、続いて「水の郷佐原」防災教育常設展示室にて関東地方整備局OBによる、「堤防決壊実験」を使っての概要説明を受ける視察を行いました。すわ議員は他の13名の議員とともに参加しました。

1000年前の利根川は東京湾に流れ込んでいましたが、江戸時代に流れを人手により現在の銚子市に変えています。同様に荒川は熊谷市久下で締め切られ、和田吉野川・市野川・入間川を本流にする流れに変えたとのこと。「利根川の東遷、荒川の西遷」というそうです。気候変動の激しさに対応しうる水防が重要ですし、世界は気候変動の根本に着手すべく動き始めています。



鴻巣・憲法九条の会「憲法と戦争とジェンダー」をテーマに法政大学前総長 田中優子さん講演

5月19日(日)、クレアこうのすで鴻巣・憲法九条の会が総会を開き、法政大学前総長の田中優子さんが講演されました。会場は満席となりました。講演後の質疑応答で「しんぶん赤旗は一流の情報を提供をしています。皆さん、赤旗を読みましょう」と宣伝をしてくれました。

【田中優子さん プロフィール】

1952年横浜市生まれ。法政大学社会学部教授・学部長を経て、2014～21年に同大学総長。「サンデーモーニング」(TBS)のコメンテーターとしても活躍。「江戸の想像力」(ちくま学芸文庫)など著書多数。



NHK番組「小さな旅」 埼玉鴻巣 花農家の情熱&庭作り

「花 こころに咲かせて～埼玉県 鴻巣市～」

5月19日(日)朝8時からNHK「小さな旅」で“花のまち”埼玉県鴻巣市が紹介されました。市内に150軒ほどの花農家があり、春にはズラリと並ぶハウスの中で色とりどりの花が咲き誇る。自分ならではの花を育てたいと情熱を燃やす父と息子。

卸売市場には、地元の花に少しでも良い値がつくよう奮闘するベテランの競り人が。住宅街では、難病と闘いながら自宅の庭の世話を続け、知り合いを招くことを何よりの楽しみにする夫婦も。それぞれの心に花を咲かせながら暮らす鴻巣の人たちに出会う旅でした。



鴻巣フラワーセンター